

平成29年度北海道大学大学院

文学研究科修士課程入学試験問題（前期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（西洋文学） <input type="checkbox"/> 共通外国語（）
出題の意図	<p>西洋文学科目の問題は、英米・英語圏文学、ドイツ文学、ロシア文学、フランス文学および西洋古典学（ギリシア語・ラテン語）の各分野から出題されている。出題の意図は、修士課程の標準修業年限内に修士論文を提出するための前提条件を満たしているかどうかを問うものである。具体的には、それぞれの分野における基本的な文学史・文学理論等に関する知識レベル及び欧文（英語、ドイツ語、ロシア語、フランス語、ギリシア語、ラテン語）文献の読解力を判定する。</p>

平成29年度
北海道大学大学院文学研究科修士課程入学試験問題（前期）
（専門試験） 西洋文学 全11枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 11枚、解答用紙 2枚を配付する。

解答における注意

（専門試験）西洋文学の出題範囲は、英米・英語圏文学、ドイツ文学、フランス文学、ロシア文学、西洋古典学です。志望する分野に応じた出題範囲の問題を選択し、その設問Ⅰと設問Ⅱに答えてください。

解答用紙は2枚あります。それぞれの解答用紙の回答欄の1行目左に、出題範囲と設問番号を記入してください。各設問は別の解答用紙を使ってください。

出題範囲・設問・ページ

英米・英語圏文学	設問Ⅰ・設問Ⅱ	2～3
ドイツ文学	設問Ⅰ・設問Ⅱ	4～5
フランス文学	設問Ⅰ・設問Ⅱ	6～7
ロシア文学	設問Ⅰ・設問Ⅱ	8～9
西洋古典学	設問Ⅰ・設問Ⅱ	10～11

[英米・英語圏文学] 設問 I

Choose two literary terms out of “archetype,” “decadence,” “sexuality,” and “point of view” and then discuss each term separately. Where does it come from? How does it work? Has its function changed? Demonstrate your understanding of each term, first by its original definition and then by its current use in English literature. Make sure you explain its characteristics by referring to at least two literary texts in order to effectively prove your idea(s).

On the first literary term of your choice, please write the essay in Japanese, though you may refer to the texts' titles and term(s) in English. The essay on the second literary term you choose has to be written in English. You may write as much as you wish within the given time.

[英米・英語圏文学] 設問 II

次の英文を和訳せよ。

* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の
出典箇所を参照するか、文学研究科教務係の窓口で閲覧してください。

出典: Michiko Kakutani, "Harry Potter and the Cursed Child' Explores the Power of Time."
New York Times. Aug. 1, 2016.

設問 I [ドイツ文学]

次のドイツ語の文章を日本語に訳しなさい、

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 Hitler, Mein Kampf. Eine kritische Edition. Hrsg. von Christian Hartmann, Thomas Vordermayer, Othmar Plöckinger, Roman Töppel. Im Auftrag des Instituts für Zeitgeschichte München – Berlin, 2016, Bd. 1, S. 53.

設問Ⅱ【ドイツ文学】

次の2問に答えなさい。

問1 次の①～③の中から1つを選んで簡潔に説明しなさい。

- ① 受容美学と期待の地平 (Rezeptionsästhetik und Erwartungshorizont)
- ② ショア (Shoah)
- ③ ジャン・パウル (Jean Paul)

問2 次の文章で述べられている „den fremden Blick“ と „Selbstverständlichkeit“ との関係について説明しなさい。

* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 Herta Müller, Der Fremde Blick oder Das Leben ist ein Furz in der Laterne. Göttingen 2009, S. 28ff.

設問 I [フランス文学]

以下のフランス語の文章をすべて和訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典：Jean-Yves Tadié, *La Critique littéraire au XX^e siècle*, Belfon, 1987, p.197.

設問Ⅱ [フランス文学]

以下のフランス語の文章をすべて和訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典：Olivier Todd, *André Malraux. Une vie*, Gallimard, « folio », 2001, p.713.

[ロシア文学] 設問Ⅰ

次にあげる人物のうち一人について、その文学史上の意義を含めて説明しなさい。

1. Н. И. Новиков (1744-1818)
2. Н. В. Гоголь (1809-1852)
3. Н. А. Некрасов (1821-1877)
4. М. А. Булгаков (1891-1940)
5. А. Д. Синявский (А. Терц) (1925-1997)

[ロシア文学] 設問 II

次の文を日本語に訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典： *Недзвецкий, В.А.* «Мертвые души»: замысел и драма художественной проповеди. // в кн. Статьи о русской литературе XIX-XX веков. Научная публицистика. Воспоминания. М., Телеграф. 2011. С. 98.

[西洋古典学] 設問 I

次の文を日本語に訳せ。また、この著者及び著作（以下の文章の出典たる著作だけに限らない）について、知るところをなるべく詳細に述べよ。

Εἴρηται μὲν ἤδη καὶ πρότερον ἐν τῇ Προπαρασκευῇ ὡς ὁ χριστιανισμὸς οὔτε ἑλληνισμὸς τίς ἐστιν οὔτε ἰουδαϊσμός, οἰκείον δέ τινα φέρων χαρακτηῖρα θεοσεβείας, καὶ τοῦτον οὐ νέον οὐδὲ ἐκτετοπισμένον, ἀλλ' εἰ μάλᾳ παλαιότατον καὶ τοῖς πρὸ τῶν Μωσέως χρόνων θεοφιλέσῃ ἐπ' εὐσεβείᾳ τε καὶ δικαιοσύνῃ μεμαρτυρημένοις συνήθη καὶ γνώριμον. πλὴν ἀλλὰ καὶ νῦν ἐπιθεωρήσαντες τί ποτ' ἐστὶν ὃ τε ἑλληνισμὸς καὶ ἰουδαϊσμός, σκεψώμεθα ποτέρῳ τούτων ὑπηγμένους τοὺς πρὸ Μωσέως θεοφιλεῖς ἄνδρας πρὸς αὐτοῦ Μωσέως ἐπ' εὐσεβείᾳ μεμαρτυρημένους εὔροιμεν ἄν. Τὸν μὲν ἰουδαϊσμὸν εὐλόγως ἂν τις ὀνομάσειε τὴν κατὰ τὸν Μωσέως νόμον διατεταγμένην πολιτείαν, ἐνὸς ἐξημμένην τοῦ ἐπὶ πάντων θεοῦ, τὸν δὲ ἑλληνισμόν, ὡς ἐν κεφαλαίῳ φάσαι, τὴν κατὰ τὰ πάτρια τῶν ἔθνων ἀπάντων εἰς πλείονας θεοὺς δεισιδαιμονίαν.

Eusebius Caesariensis, *Demonstratio evangelica*, I 2,1-2

註：

- ・ Προπαρασκευῇ この著作家の別著作（『福音の準備 *Praeparatio evangelica*』）を指す
- ・ ἐκτετοπισμένον ここでは「片田舎の」
- ・ ἐπιθεωρέω 検討する
- ・ εὐλόγως 道理にかなって
- ・ ἐξημμένην ここでは + gen. 「～に固着する」
- ・ ἐν κεφαλαίῳ 要約的に

[西洋古典学] 設問Ⅱ

次の文を日本語に訳せ。また、この著者及び著作（以下の文章の出典たる著作だけに限らない）について、知るところをなるべく詳細に述べよ。

Ceterum iste, qui in tota vita sua non totos triginta dies Alexandriae, ubi erat Didymus, commoratus est, per totos pene libellos suos longe lateque se iactat Didymi videntis esse discipulum, et *καθηγητήν* in Scripturis sanctis habuisse Didymum. Et omnis ista iactantia in uno mense quaesita est. Ego, qui sex annis Dei causa demoratus sum, et iterum, post intervallum aliquod, aliis duobus, ubi erat Didymus, de quo tu solo te iactas, et ubi alii nihilominus illo non inferiores, quos tu ne facie quidem tenus nosti, Serapion et Amenites, viri natura et moribus et eruditione germani, ubi Paulus senex, Petri martyris discipulus; et ut ad eremi magistros veniam, quibus et attentius et frequentius vacabamus, ubi Macharius, Antonii discipulus, et alter Macharius et Isidorus et Pambus, omnes amici Dei, qui nos haec docebant, quae ipsi a Deo discebant: quantam ego, si hoc ita deceret aut expediret, de his omnibus habere iactantiae materiam possem?

Rufinus, *Apologia contra Hieronymum*, II 15

註：

- iste 本文中であとに出てくる tu と同一人物、すなわちヒエロニムスを指す
- Ego ルフィヌスを指す
- iacto 自慢する
- vaco ここでは + dat. 「～に専心する」